令和７年度　　**数学科　指導計画・評価計画（２年）**

記入者　木下裕　五十嵐功　竹腰美佳　牛尾謙太

学期	月	指導計画（学習内容など）	評価計画（観点、規準、方法など）
Ⅰ	4 5 6 7	１章　式の計算【15】 １－式の計算 ２－文字式の利用 *(学習確認テスト)* ２章　連立方程式【14】 １－連立方程式とその解き方 ２－連立方程式の利用 ３章　１次関数【18】 １－１次関数 *(期末考査)* ２－１次関数の性質と調べ方	１章 式の計算 〈知識〉整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算方法について理解し、計算することができる。 〈思考〉文字を使った式を用いて、具体的な場面で表現できる。 〈態度〉文字式の必要性と意味を考えようとする。 ２章 連立方程式 〈知識〉連立２元１次方程式の計算方法について理解し、計算することができる。 〈思考〉連立２元１次方程式を用いて、具体的な場面で表現できる。 〈態度〉連立２元１次方程式の必要性と意味を考えようとする。 ３章 １次関数 〈知識〉１次関数について理解し、式や表、グラフに表現することができる。 〈思考〉１次関数として捉えられる２つの数量について、式や表、グラフを相互に関連付け考察できる。 〈態度〉１次関数の必要性と意味を考えようとする。
Ⅱ	9 10 11 12	３－２元１次方程式と１次関数 ４－１次関数の利用 ４章　平行と合同【16】 １－説明のしくみ *(中間考査)* ２－平行線と角 ３－合同な図形 *(期末考査)* ５章　三角形と四角形【22】 １－三角形	４章 平行と合同 〈知識〉平行線や角の性質、合同な図形などについて理解するとともに、平面図形の角の大きさを求めることができる。 〈思考〉平面図形の性質を見いだし、平行線や角の性質を用いて、説明することができる。 〈態度〉証明の方法について考えようとする。 ５章 三角形と四角形 〈知識〉証明の必要性と意味を理解している。 〈思考〉三角形の合同条件などをもとにし、三角形や平行四辺形の性質を論理的に考察できる。 〈態度〉証明の必要性と意味を考えようとする。
Ⅲ	1 2 3	２－平行四辺形 ６章　確率【10】 １－確率 ２－確率による説明 *(学年末考査)* ７章　データの比較【5】 １－四分位範囲と箱ひげ図 １年間のまとめ【5】	６章 確率 〈知識〉確率の必要性と意味を理解している。確率を求めることができる。 〈思考〉確率を用いて、不確定な事象を捉え考察し表現できる。 〈態度〉確率の必要性と意味を考えようとする。 ７章 データの比較 〈知識〉四分位範囲や箱ひげ図について理解することができる。データを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 〈思考〉データの傾向を読み取り、考察し判断することができる。 〈態度〉データを整理することの必要性について考えようとする。 **知識・技能　→　知識** **思考・判断・表現　→　思考** **主体的に学習に取り組む態度　→　態度**

① 授業態度（授業中の取り組み方・忘れ物の有無なども含む）
② 課題・提出物・宿題など
③ 定期考査・学習確認テスト・小テスト など　　から評価します。